

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	応用測定工作実習	
科目基礎情報					
開設学科	一級自動車整備科	コース名	なし	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	24時間
単位数	0単位	授業形態	実習		
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。/実習車、実習教材など				
担当教員情報					
担当教員	大瀧昇利、清水拓也、山本昌孝		実務経験の有無・職種	有・一級自動車整備士	
学習目的					
「機器を使用した金属加工技術とは何か」という問いに対し、2年次各実習の応用として安全を重視した測定技術や加工技術により、高度な金属加工と高度な車両測定を作業を通して理解すること、またその知識に基づいた測定・点検・調整・加工作業が正確に出来ることを目的とする。					
到達目標					
2年次に習得した測定、加工の知識・技術を更に発展し、3年次講義科目での教科書知識の確認として、様々なメーカーの実習車に搭載されている電子制御式エンジン、サスペンションの測定と、工作機械の取り扱いについて、常に安全とチームワーク、主体性を意識して取り組むこと、また、4年次科目でもあるインターン実習に向けて、基本的な作業の反復を行うことをなどを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	様々な測定機器の取り扱い方法と測定・調整作業と、加工機械の取り扱い方法と測定・調整作業を加工図面を基に各々が主体的に行動し、安全やチームワークを第一に考え、一級自動車整備士として常に最新技術を意識しながら理解出来るようになることを目指す。				
注意点	学生の主体的な協働コミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業に出席するだけではなく、社会への移行を前提とした受講マナー授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや自動車整備業界の状況などを概説するので、各々情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、一級自動車整備科では授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
授業計画（1回～3回）※実習内容や順番は変更する可能性がある					
回	授業内容（主にグループワーク）	各回の到達目標			
1回	ホイールアライメント・シャンダイナモ	機器取扱、測定調整について理解する			
2回	金属切断、旋盤加工、溶接作業	金属加工作業、加工仕上げについて理解する			
3回	測定・加工まとめ	全体のまとめ			
4回					
5回					
6回					
7回					
8回					
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					